

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		基準より+1であるが送迎に出てしまつ他時不安に思う時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			毎日1日のチェックと毎朝の振り返りを行うことで問題点を抽出し、改善策を活かしあっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		6ヶ月ごとのモニタリングも来所してもらい対面で行っている。ニーズを聞く機会は多い（送迎時、連絡帳など）
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		毎回アップしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			毎月1回役時間必ず開催し、スキルアップ研修としている。

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	7			保護者と職員のアセスメントを必ず取るようにしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			各事業所にて作成使用している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			コロナの影響で限られた場所や環境の中で工夫している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		色々年齢レベルに合わせたイベントやカリキュラムを考案設定（個々に）している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成しているか	6			個別課題と社会化・コミュニケーションの向上のための活動を毎日用意している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	3		
	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		情報をもらうことはあるが、こちらの提示はおこなわれていない。変更があるときは直接学校と連絡を取りあっている。学校の行事予定案をコピーしてもらっている。
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	1	看護師は配置しているが、主治医との連携はできていないので改めたい
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		できている箇所とできない箇所があるので連携をとっていきたい。できるかぎり家族さんから情報を得ている。
	(24)	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	2	話はしたが提供はできていないので、今後はしていきたい。スクールからネクストへ移行する際には個々の特性や支援内容を詳しく伝えていく。

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		主催の研修に参加し、職員研修に反映させたい。
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	コロナ禍のためできていないが機会を作っていくたい。外出を控えているためできていない。
	(27)	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	上板町年間計画策定委員会や板野郡こどもネットワークには数人で参加している。代表者が参加している。
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		3	きちんとしたペアレントトレーニングはまだ行えていないが、自発管が研修に参加したことを事業所内研修会で講習してくれ学んでいる。
厚	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	2	コロナ禍のためできなかった。開催を予定し参加者も集まっていたがコロナ禍でリスクをさけるため中止となった。

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情はいまのところない
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1	今後少しづつ発信していきたい。 行事予定はしている。
	(35)	個人情報に十分注意しているか	7			
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	2	コロナ禍のためできなかった 老人施設に慰問に行っていたが今年はできなかった。
非常時策	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		保護者に対して周知できていない。 マニュアルもある。職員は周知している。
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			毎月1回実施・地元の警察や消防署から来てもらい研修を受けた。
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			

放課後等ディサービス自己評価表【事業者向け】2020年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
の 対 応	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	4	3		
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			

※未回答の項目もありますので各項目間で回答数に差異があります。